

水産三者合同意見交換会

日 時 : 令和8年9月8日(水) 13:30～

場 所 : ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

出席者 : 熊本県議会水産振興議員連盟 12名

熊本県執行部 20名

熊本県漁連役員・部会長 14名

本県水産業を取り巻く環境は、円安による漁業資材・燃油及び配合飼料等の価格高騰が続く中、漁業経営は一層厳しさを増しています。加えて6年連続で有害赤潮による養殖魚への漁業被害や藻場の減少、イルカやサメの影響とみられる食害などにより、漁獲量の減少が進み、養殖業、漁船漁業ともに漁業経営を大きく圧迫しています。またこのような厳しい状況に加え、7月28日に発生した令和8年熊本地震の影響を受け、県内の多くの漁港や漁業施設等において地盤沈下や亀裂等の被害も新たに発生しました。

意見交換会では、このような本県水産業の現状を打開するための要望書を熊本県並びに熊本県議会水産振興議員連盟に提出し、要望内容について有意義な意見交換を行いました。我々漁業者の切実な生の声をお届けできたことで、要望事項の早期実現を期待しています。

【要望内容】

- ◇燃油・資材高騰対策について
- ◇資源管理・栽培漁業、有害生物の調査研究対策について
- ◇海苔養殖業等における調査研究・技術開発等について
- ◇漁場整備に関すること
- ◇漂流・漂着・海底ごみの回収・処分について
- ◇共同利用施設について
- ◇港湾・漁港整備等に関することについて

【主催者挨拶】



【要望書提出】



熊本県議会水産振興議員連盟



熊本県知事(代理:深川農林水産部長)

【意見交換会】

